

四国8の字ネットワークの整備促進

政策提言先 国土交通省・財務省

政策提言の要旨

南海トラフ地震発生時に甚大な被害が想定される本県では、「四国8の字ネットワーク」の延伸を見据え、役場庁舎の移転や道の駅の拡張など、防災拠点の機能強化を推進しています。防災拠点間の連携強化や広域からの円滑な支援体制の事前構築による地域防災力の向上に加え、近年、激甚化する豪雨災害等に対する県全体の防災力を向上させるためにも、災害に強い「四国8の字ネットワーク」は不可欠な基盤です。

また、本県では、「若者が誇りと志を持って働ける高知県」の実現を目指して、販路の拡大による地産外商の強化や新たな観光拠点の整備による観光誘客などの取り組みを進めています。

四国8の字ネットワークは、こうした経済活性化の取り組みと一体となって、商圈や交流人口のさらなる拡大等、より大きな効果を地域にもたらします。

このため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等により、整備に必要となる予算・財源を確保するとともに、5か年加速化対策期間完了後においても、中長期的な見通しのもと、引き続き、必要な予算・財源を安定的・継続的に確保し、安全・安心な暮らしを支え、地域経済活性化の要となる「四国8の字ネットワーク」の整備を早急かつ計画的に進めていただくよう提言します。

【政策提言の具体的内容】

安全・安心な暮らしを支え、地域経済の活性化に不可欠となる

「四国8の字ネットワーク」の整備は急務であり、以下の項目を提言します。

1. 計画段階評価完了区間の早期事業化

高速道路ネットワークの構築により、整備効果を最大限発揮することが可能となります。

- 四国横断自動車道：宿毛和田～宿毛新港
- 阿南安芸自動車道：奈半利～安田

2. 事業中箇所早期開通

早期の開通により、地域に様々な効果がいち早くもたらされます。

【早期開通に向けた整備促進、補助事業箇所の予算確保】

- 四国横断自動車道：窪川佐賀道路、佐賀大方道路、大方四万十道路、宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）
- 高知東部自動車道：南国安芸道路（高知龍馬空港～香南のいち、芸西西～安芸西）
- 阿南安芸自動車道：海部野根道路、野根安倉道路（直轄権限代行）、奈半利安芸道路（安田～安芸）、安芸道路、北川道路1工区及び北川道路2-2工区（補助事業費の確保）

3. 「高速道路における安全・安心基本計画」に基づく暫定2車線区間の4車線化の着実な実施

暫定2車線区間の4車線化により、安全で安定した利用の確保と災害への備えが高まります。

- 高知自動車道：土佐PA～須崎東

【政策提言の理由】

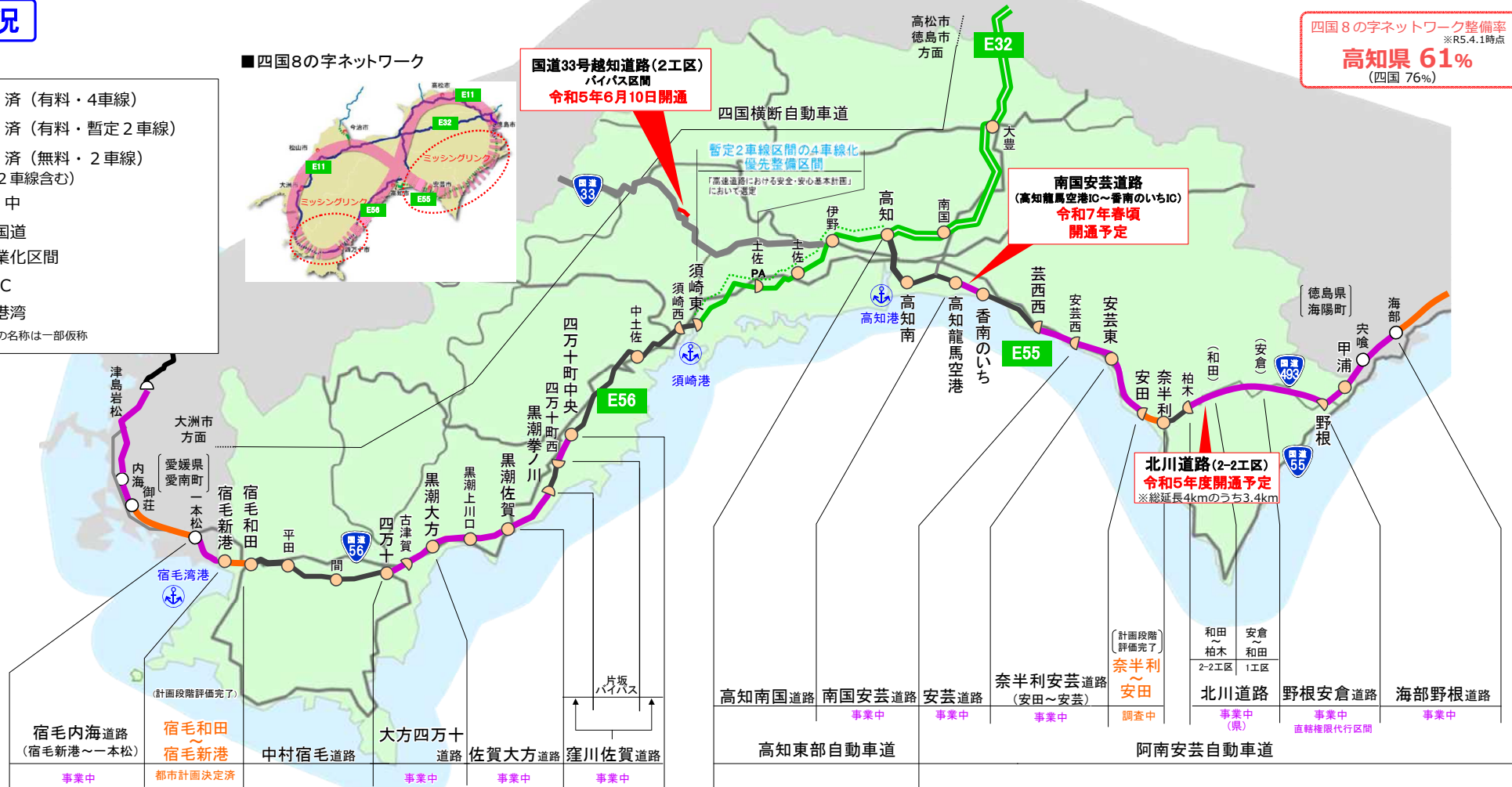
◇ 四国8の字ネットワークは、大規模災害時の生命線となり、安全・安心な暮らしを支えるとともに、地域経済の活性化に不可欠な基盤であることから、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等により、整備に必要となる予算・財源を確保したうえで、早急かつ計画的に整備が進められるべきと考えます。

整備状況

凡例

- : 開通済 (有料・4車線)
 - - - : 開通済 (有料・暫定2車線)
 - : 開通済 (無料・2車線) (暫定2車線含む)
 - : 事業中
 - : 一般国道
 - : 未事業化区間
 - / ● : 主なIC
 - ⚓ : 重要港湾
- ※事業中区間のICの名称は一部仮称

■ 四国8の字ネットワーク



四国8の字ネットワーク整備率 ※R5.4.1時点
高知県 61%
 (四国 76%)

安全・安心な暮らしを支え、地域経済の活性化に不可欠な四国8の字ネットワークの整備は急務

1 計画段階評価完了区間の早期事業化

- 四国横断自動車道：宿毛和田～宿毛新港
- 阿南安芸自動車道：奈半利～安田

2 事業中箇所の早期開通

- 四国横断自動車道：窪川佐賀道路、佐賀大方道路、大方四万十道路、宿毛内海道路
- 高知東部自動車道：南国安芸道路
- 阿南安芸自動車道：海部野根道路、野根安倉道路、奈半利安芸道路、安芸道路、北川道路1工区及び北川道路2-2工区

3 「高速道路における安全・安心基本計画」に基づく暫定2車線区間の4車線化の着実な実施

- 高知自動車道：土佐PA～須崎東

切迫度の高まる南海トラフ地震に備えるためにも、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等によるミッシングリンク解消、ダブルネットワーク構築が不可欠

高速道路の延伸を見据えたまちづくり「南海トラフ地震に備える」

●高台への防災拠点の整備(宿毛市)

E56 四国横断自動車道
「宿毛和田～宿毛新港」都市計画決定ルート

国、県、市が連携し、津波浸水の影響を受けない高台へ移転

- 令和4年3月：きぼうが丘保育園開園
- 令和4年5月：宿毛市役所新庁舎開庁

●防災拠点整備状況

- 宿毛警察署建設予定地
- 宿毛市役所建設予定地
- 宿毛事務所建設予定地
- 宿毛海上保安署建設予定地
- きぼうが丘保育園建設予定地

津波による長期浸水想定区域

宿毛海上保安署 (1次防災拠点港)

至 一本松

至 四万十市

至 大豊

● 開通済 (有料・4車線)

● 開通済 (有料・暫定2車線)

● 開通済 (無料・2車線)

● 一般国道

● 未事業化区間

● 防災拠点

○ 防災拠点以外

令和4年2月撮影

●防災機能を有する道の駅の整備(田野町)

E55 阿南安芸自動車道
「奈半利～安田」ルート帯

防災機能を有する「道の駅」へ強化・拡張

- 令和5年度：基本構想着手予定

津波浸水想定区域

道の駅

至 安田

至 奈半利

IC検討位置

中芸高校

田野中学校

中芸消防

田野病院

田野町役場

生かろしお鉄道 こめん・なはり線

田野町

令和4年11月撮影

●移動式応急仮設住宅の備蓄拠点(大豊町)

国内最大の備蓄拠点

ICに近接した位置で備蓄

8の字ネットワークの活用により四国の被災地へ迅速な供給が実現

大豊IC

令和4年11月撮影

8の字整備 防災拠点の整備と高速道路の延伸により、地域の防災力が向上

暫定2車線区間の4車線化は「安全性、信頼性を高める」

●暫定2車線区間の課題(事故の多発、並行現道の通行止め)

暫定2車線(有料)

安全・安心計画に基づく優先4車線化整備区間

伊野

高知

南国

大豊

土佐 PA

土佐

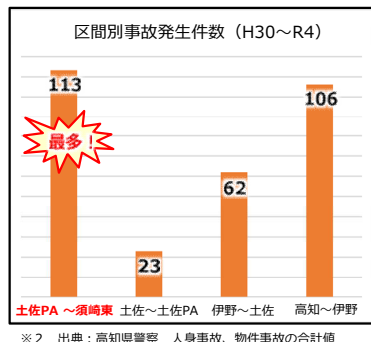
須崎東

降雪による全面通行止

【国道56号】

- 降雪による上下線通行止発生(約21時間)
- 一時、車100台以上が立ち往生

国道56号土佐市海野々 (令和4年12月)



●4車線化による効果(被災6日後から対面通行による通行再開)



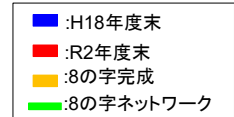
4車線化

- 高速道路における死傷事故の防止に寄与
- 災害時におけるネットワークの代替性を確保

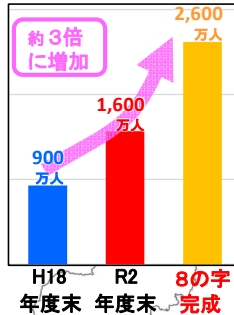
消費圏拡大 関西などの大規模消費圏への輸送を支える

■宿毛市からの消費圏域（6時間圏域）の拡大

●消費圏域の変化



●消費圏域人口の推移



※「8の字完成時点」は、四国8の字ネットワークとR2事業中の直轄国道以上の道路が完成したものと判定。また、陸路のみ使用したものと判定。R2年度、8の字完成時の人口は、H27年国勢調査結果により算定。

水産業と8の字延伸

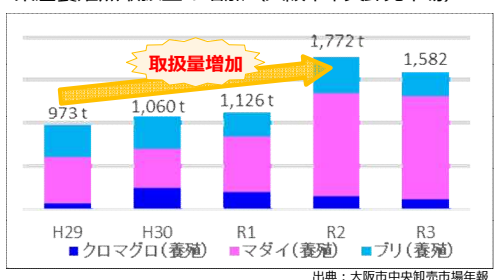
●遠方への活魚輸送に不可欠な高速道路（高知自動車道）



●地元漁業関係者の声（宿毛市）

- ・マグロの一部は空路で関東へ出荷。マダイの一部は輸送の効率化のため、愛媛県産と併せて出荷しています。
- ・また、四国の西部地域は距離的ハンデから朝早く出発する必要があり、十分な水揚げ量がある場合でも、出荷準備する時間が足りません。
- ・8の字ネットワークの延伸により輸送の効率化が図られ、出荷準備に費やす時間が増えることで出荷数の増加につながります。

●県産養殖魚取扱量の増加（大阪市中央卸売市場）



●県産農水産物の合同フェア（あべのハルカス近鉄本店）



輸送効率化 8の字沿線に集出荷場を再編中

■「園芸王国高知」の輸送を支える

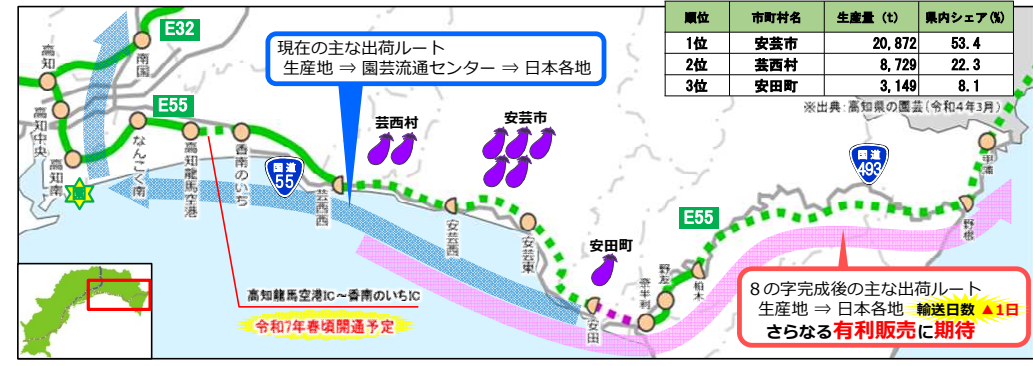
●輸送ルートと集出荷場位置



【A高知県集出荷場再編構想】※2
施設の更新費縮小・人手不足解消を目的に集出荷場の集約を計画
2030年を目途に49施設→29施設を目指す。

8の字整備 定時性・速達性の向上 計画を後押し

●ルートの見直しによる輸送時間の短縮



8の字延伸の効果 開通済み区間で地域産業が活性化！！

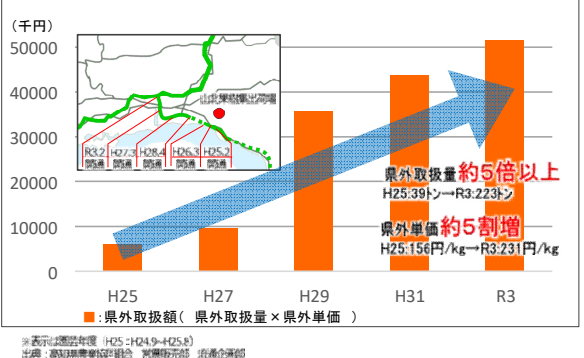
■県産ミカンの県外販路拡大

●山北ミカン（香南市）

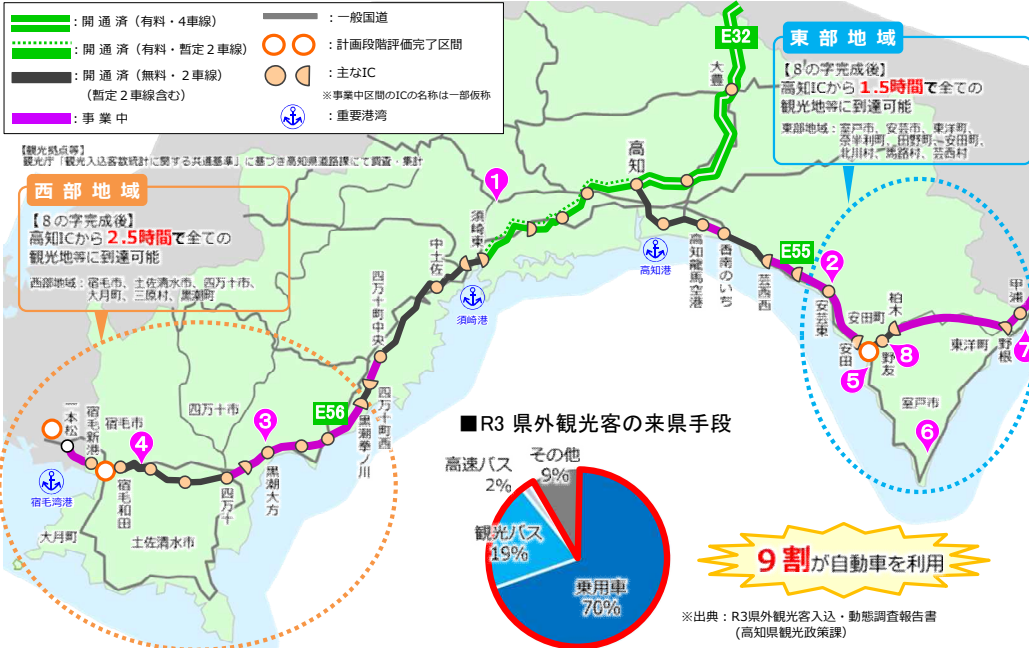
県外取扱量・単価上昇中！！



●山北ミカンの県外取扱額



高知県の観光 アフターコロナ時代の観光振興を支える



●高知県観光博覧会「牧野博士の新休日」を県下で展開中

連続テレビ小説放送中！

高知県出身の植物分類学者 牧野富太郎

牧野富太郎 (1862-1957) 主な功績

- ◆「植物学雑誌」を創刊
- ◆1,500種類以上の植物を命名
- ◆「牧野日本植物図鑑」を刊行
- ◆文化勲章受章 など

らんまんの舞台・高知 牧野博士の新休日

Dr. Makino's New Holiday in KOCHI

R5年3月25日(土)～R6年3月31日(日)

●経済活力が高まる関西圏との経済連携強化

大規模プロジェクトに向けて高まる関西圏の経済活力

- ◆R7大阪・関西万博 想定来場者数：2,820万人
- ◆大阪IR(R11開業予定) 想定年間来場者数：2,000万人

EXPO 2025

関西圏からの観光客入込数

77万人 ... 121万人

R2 ... R5目標

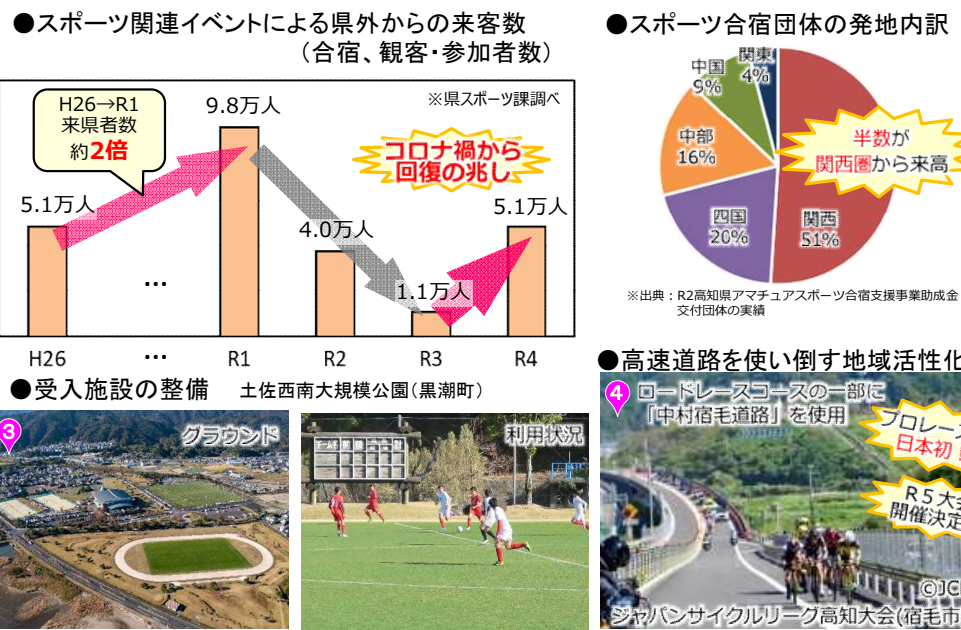
※出典：高知県関西・高知経済連携強化戦略ver.2（高知県産地消・外商課）

●経済連携強化に向けた取り組み

関西圏アンテナショップ（大阪府）

大阪体育大学との連携（R4.3協定締結）

スポーツツーリズムの誘致拡大 スポーツを通じた交流人口の拡大を支える



自然・体験型観光による誘客拡大 “高知の強み”を生かした誘客を支える

